

新高通信

第5号

平成20年12月19日

秋田県立新屋高等学校

「青色の春」真っ只中の生徒諸君へ -新年を前に、加藤繁校長先生からメッセージ

月並みですが、光陰矢の如く今年も暮れようとしています。生徒諸君にとって平成20年はどんな年だったでしょうか。高校時代は誰にとっても最も心に残る「青色の春の季節」。挑戦する全てが瑞々しく、失敗も成功もその時は気付かなくても、長い人生では大きな財産となるもの。その挑みは、自ら向かったもの、他から強制されたものの差こそあれ、自分自身に生涯残り、人生の岐路で大なり小なり影響を与え導いてくれる。だから、今どんなに苦しく辛くても、大きな夢を持ち、諦めず、逃げ出さず、焦らず、黙々と進んでください。そして、「朱色の夏」、「白色の秋」、「玄色の冬」と、人生経験を積み重ね、周りの人への感謝を忘れない謙虚な人間になってください。諸君の平成21年における健闘を祈念します。

進路資料『進路の手引き』に書いた「汝、何のためにそこにありや」に答えるべく、私は来年も「青春時代」の気持ちで取り組みたいと思っています。

ご家族の皆さんとよい年をお迎えください。

「学習時間調査」から見えてきたのは・・・

4回目の「学習時間調査」が、第3回定期考査前の11/28～12/4を対象に行われました。その結果をもとに、進路指導主事・佐藤高先生からご指導いただきました。

1年生は週平均の学習時間が1.4時間弱。第2回調査(6月)と比べ0.7時間(約1時間)も減っています。また週2時間以上の生徒が35人いる一方で、1時間未満の生徒が78人も。一般に「学年+1時間」が家庭学習の目安(1年生なら最低2時間)。減った原因は学習に向かうモチベーション不足? 「世の中は甘くない」ことに早く気づき、自分の適性や興味・関心を見極める努力を。

2年生は1.5時間を若干上回る程度。えっ、1年生とほとんど同じ? 修学旅行も終わり、進路実現に向けスタートしたはずのこの時期としては余りに少なすぎ。週2時間以上の生徒が57名と1年生より多いのは当然として、1時間未満が何と66名もいるのは大いに問題あり!

1月の行事予定

1	木	元旦
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	冬季集中補習Ⅱ
6	火	(3年～11)
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	集会、課題テ
14	水	スト(~14)
15	木	
16	金	センター激励会
17	土	センター試験(1日目)
18	日	センター試験(2日目)
19	月	センター試験自己採点
20	火	
21	水	芸術科教員発表会 美術書道教員展覧会
22	木	運動部心電図検査
23	金	
24	土	弓道東北選抜/アンサンブルコンテスト県大会
25	日	
26	月	3年生定期考査④(~29) / 2次出願判定会議
27	火	小論文ライト(1年)
28	水	
29	木	
30	金	高校入試(前期選抜)
31	土	※3年生は1月30日から自宅学習となります。

進級・卒業の認定について

- ① 必履修科目の履修が認められること
 - ② 年度末で未修得科目が3科目10単位以内であること(卒業には各教科・科目の未修得単位の合計が10単位を超えないことが条件)
 - ③ 出席日数が2/3以上であること等
- ☆進学・就職には欠席の多い少ないが大きく影響します。
☆ご家庭でも生徒が安易に休まないよう励ましを。



このままでは3年になっても進路を決められない生徒が続出する事態が心配。自分の将来、誰が決めるの? 残り1年。漫然と日々過ごすのではなく、何をしたいか(どんな人間になりたいか)、真剣に考えましょう。2年生!

佐藤遥菜さん、優勝おめでとうー全県新人ハト単

●バドミントン（全県）

女子 団体 2回戦 新屋0-3 能代西

単（2部）佐藤遥菜（1E）**優勝**

複 船木美保（1C）佐藤遥菜（1E）**準優勝**

●剣道（全県）

男子 団体ベスト8 個人 小武海勇太（2A）3位

女子 個人 田中佳奈子（2D）3位

●柔道（全県）

女子 63kg級 石井亜実（1A）準々決勝敗退

●卓球（全県）

男子団体 1回戦 新屋0-3 羽後

●バスケットボール（中央支部）

男子 新屋63-明桜89など（予選リーグ敗退）

女子 新屋43-明桜88（決勝T進出も敗退）

●バレーボール（中央支部）

男子 6位（新屋2-0明桜、新屋0-2中央）

全県新人戦へ

女子 新屋1-金農2など（予選リーグ敗退）

●弓道部、東北大会へー来年にかける意気込み、聞かせてください●

年明け早々1月の東北大会で男子団体・個人（武田尚人）とも全国大会出場権を獲得すること、また新しい射場で練習できることに感謝しつつ、全県総体・男女アベック優勝を成し遂げることを目標に、日々厳しい練習に取り組みます。〈主将・齊藤優人2A〉

高校総合美術展で続々「推奨」ー美術・書道・写真部

今年度の秋田県高校総合美術展に本校から出品した作品（一部）の「展覧会」が今、購買隣りで開かれています。いずれも力作ばかり。なかには「推奨」に選ばれた作品もあります。じっくり鑑賞してください。

「推奨」受賞作品

- ・写真 栗田 静（2C）「小春びより」
菅原味咲（2D）「ひだまり」
- ・書道 小林孝奈（2C）「臨寸松庵色紙」
- ・美術 伊藤美乃（1C）「おーたむ」



事務より

- ・授業料の口座引き落としは毎月17日です。口座残高のご確認をお願いいたします。
- ・授業料減免・奨学金（秋田県育英会など）その他何でも、気軽に学校にご相談ください。

先輩の皆さんありがとうー'体験談'参考にします！

12月16日、1年生を対象とした「先輩による進路体験講話」が開かれました。参加してくれたのは、秋大生とホテル勤務の先輩、それに、すでに推薦で進路が内定している3年生。それぞれの人生目標に向けて頑張る先輩たちが、自分の思いを後輩たちを前に熱く語ってくれました。

先輩から貴重なアドバイスを聞くことができた1年生。一人ひとりが、これからの高校生活を充実させ、進路実現達成のため、生活面や学習面でどんな実践をすればいいか考える良い機会になったのではないのでしょうか。

栗田養護で恒例の'クリスマスコンサート'開きましたー吹奏楽部

毎年恒例の吹奏楽部による栗田養護学校でのクリスマスコンサートが12月18日開かれました。

10年以上続くイベントとあって楽しみに待っていてくれた児童生



徒や先生方、それに保護者・地元の方々など'楽部ファン'に、「美女と野獣」「白い恋人たち」などを披露しました。栗田養護の皆さん、来年も楽しみにしててね。

恩師にインタビュー②

ー2回目は教務主任の根義鎮先生ですー

★根先生は新高に14年間も勤務されていますが、今までで一番の思い出は何でしょうか。

☆根先生：14年前の新高は毎年40人以上もの生徒が退学。授業もままならず、生徒と格闘する毎日。それが今や整容面で全県一と言われ、部活でも進路でも大きな成果を上げるまでになりました。

生徒諸君は当然、今の新高しか知らないけれど、『学校ってこんなに変わるんだ』。それが私にとっての'思い出'というか、正直な感想です。

★長年のご経験から、新高生がより一層レベルアップするには、何が必要とお考えですか。

☆根先生：最近の新高生は素直で、挨拶など基本的な生活習慣を身に付けた生徒が多く、いつ社会に出しても恥ずかしくないと思っています。反面、その素直さが'マイナス'に働いているなど感じる時きも。もっと高い志を持とうよ新高生。現状に満足せず、先生方を'悩ませ'、そして活用しましょう。